

2013年10月8日
東日本旅客鉄道株式会社
公益財団法人 東日本鉄道文化財団

「世界鉄道博物館会議」の開催について

世界各国の鉄道の歴史は、各々の地理的な特徴や文化にもとづき独自に発展してきましたが、各国にはその歴史を後世に伝えるべく、鉄道をテーマとした博物館が数多く存在しています。この度、世界の鉄道をテーマとした博物館が一堂に会する初の試み、「世界鉄道博物館会議」を鉄道博物館（さいたま市）で開催することとなりました。このような博物館同士の相互理解、情報の共有化等の交流を通じて、鉄道の魅力を高め、今後の鉄道の更なる発展に活かしてまいります。

開催日 2013年11月7日（木）

参加館 別紙

開催場所 鉄道博物館
埼玉県さいたま市大宮区大成町3丁目47番

主催者 公益財団法人東日本鉄道文化財団

プログラム

	時間	内容	開催場所
11月7日（木）	10:30	館内視察	鉄道博物館
	13:30	世界鉄道博物館会議	

（参考）11月6日（水） 歓迎レセプション（東京ステーションホテル）
11月8日（金） エクスカーション（栃木県日光周辺）

(順番は海外博物館は国名のアルファベット順、日本博物館は博物館名のカナ順)

国名	博物館														
<p>フランス France</p>	<p>フランス鉄道博物館 Cité du Train</p>   <p>歴史的なオリジナル車両を100両展示するヨーロッパ大陸最大の鉄道博物館。合計25,000㎡の展示スペースには、テーマにそって展示する「パルクール・スペクタクル」、年代順に展示する「歴史のプラットフォーム」、鉄道アニメを上映する屋外展示「鉄道のパノラマ」の3つの展示エリアを展開している。</p>  <p>フリップ・ミルヴィル会長 M. Philippe Mirville</p> <table border="1" data-bbox="651 846 1390 1115"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;"><基本情報></td> </tr> <tr> <td>所在地</td> <td>ミュールーズ Mulhouse</td> </tr> <tr> <td>開館</td> <td>1971年7月</td> </tr> <tr> <td>敷地面積</td> <td>約25,000㎡</td> </tr> <tr> <td>建物延べ面積</td> <td>約25,000㎡</td> </tr> <tr> <td>保有車両数</td> <td>100両</td> </tr> <tr> <td>運営</td> <td>French National Railway Museum Association</td> </tr> </table>	<基本情報>		所在地	ミュールーズ Mulhouse	開館	1971年7月	敷地面積	約25,000㎡	建物延べ面積	約25,000㎡	保有車両数	100両	運営	French National Railway Museum Association
<基本情報>															
所在地	ミュールーズ Mulhouse														
開館	1971年7月														
敷地面積	約25,000㎡														
建物延べ面積	約25,000㎡														
保有車両数	100両														
運営	French National Railway Museum Association														
<p>ドイツ Germany</p>	<p>ドイツ鉄道博物館 DB Museum</p>   <p>世界で最も古い鉄道博物館。中心はドイツの鉄道の歴史を扱う大展示エリアで、広さは3,000㎡を超える。コレクションの規模は世界最大級で、車両の数は500両以上。ニュルンベルクの本館、コブレンツ・ラインとハレ・ザーレの2つの支館に140両が展示されている。</p>  <p>ルッサルカ・ニコロフ館長 Ms. Russalka Nikolov</p> <table border="1" data-bbox="651 1758 1390 2027"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;"><基本情報></td> </tr> <tr> <td>所在地</td> <td>ニュルンベルク Nuremberg</td> </tr> <tr> <td>開館</td> <td>1899年10月</td> </tr> <tr> <td>敷地面積</td> <td>約21,800㎡</td> </tr> <tr> <td>建物延べ面積</td> <td>約8,000㎡</td> </tr> <tr> <td>保有車両数</td> <td>569両</td> </tr> <tr> <td>運営</td> <td>Deutsche Bahn AG/Deutsche Bahn Stiftung</td> </tr> </table>	<基本情報>		所在地	ニュルンベルク Nuremberg	開館	1899年10月	敷地面積	約21,800㎡	建物延べ面積	約8,000㎡	保有車両数	569両	運営	Deutsche Bahn AG/Deutsche Bahn Stiftung
<基本情報>															
所在地	ニュルンベルク Nuremberg														
開館	1899年10月														
敷地面積	約21,800㎡														
建物延べ面積	約8,000㎡														
保有車両数	569両														
運営	Deutsche Bahn AG/Deutsche Bahn Stiftung														

国名	博物館
----	-----

<p>韓国 Republic of Korea</p>	<p>韓国鉄道博物館 Korea Railroad Museum</p>  												
	<p>鉄道高等学校の博物館を拡張して富谷展示場（最初の展示場）がオープンした。屋内外の車両展示のほか、韓国の鉄道の歴史やその関連史料などを展示。模型パノラマ室では、さまざまな列車が運行する様子を楽しめる。屋外スペースには蒸気機関車や客車が展示され、実際に乗って中を見ることが出来る。</p>												
 <p>孫吉信館長 Mr. Gil Shin Sohn</p>	<p><基本情報></p> <table> <tr> <td>所在地</td> <td>京畿道儀旺市 Uiwang-si, Gyeonggi-do</td> </tr> <tr> <td>開館</td> <td>1988年1月</td> </tr> <tr> <td>敷地面積</td> <td>約28,000㎡</td> </tr> <tr> <td>建物延べ面積</td> <td>約2,900㎡</td> </tr> <tr> <td>保有車両数</td> <td>26両</td> </tr> <tr> <td>運営</td> <td>Korail and E-bridge</td> </tr> </table>	所在地	京畿道儀旺市 Uiwang-si, Gyeonggi-do	開館	1988年1月	敷地面積	約28,000㎡	建物延べ面積	約2,900㎡	保有車両数	26両	運営	Korail and E-bridge
所在地	京畿道儀旺市 Uiwang-si, Gyeonggi-do												
開館	1988年1月												
敷地面積	約28,000㎡												
建物延べ面積	約2,900㎡												
保有車両数	26両												
運営	Korail and E-bridge												

<p>スイス Switzerland</p>	<p>スイス交通博物館 Swiss Museum of Transport</p>  												
	<p>ルツェルンにある、スイスで最も人気が高い博物館。陸、海、空から宇宙まで、過去から未来までの交通の発展をさまざまな興味深い方法で展示。3,000点を超すコレクションのほか、高性能シミュレータ、マルチメディアショーなどの参加型体験展示がある。</p>												
 <p>マーティン・ビューティコファー館長 Mr. Martin Buetikofer</p>	<p><基本情報></p> <table> <tr> <td>所在地</td> <td>ルツェルン Luzern</td> </tr> <tr> <td>開館</td> <td>1959年1月</td> </tr> <tr> <td>敷地面積</td> <td>約40,000㎡</td> </tr> <tr> <td>建物延べ面積</td> <td>約20,000㎡</td> </tr> <tr> <td>保有車両数</td> <td>50両</td> </tr> <tr> <td>運営</td> <td>Private Organisation (PPP = Public Private Partnership)</td> </tr> </table>	所在地	ルツェルン Luzern	開館	1959年1月	敷地面積	約40,000㎡	建物延べ面積	約20,000㎡	保有車両数	50両	運営	Private Organisation (PPP = Public Private Partnership)
所在地	ルツェルン Luzern												
開館	1959年1月												
敷地面積	約40,000㎡												
建物延べ面積	約20,000㎡												
保有車両数	50両												
運営	Private Organisation (PPP = Public Private Partnership)												

国名	博物館
----	-----

英国国立鉄道博物館 National Railway Museum



イギリス
U. K.

100万点以上の鉄道アイテムを有し、200年を超える歴史を生き生きと再現し常に新しい発見がある博物館。巨大ホールには世界最高速度を記録した蒸気機関車マラード号をはじめとする機関車や由緒ある王室専用客車を収蔵。常設展示だけでなく日常的な実演の実施や家族向けイベントの開催も行っている。



ポール・カークマン館長
Mr. Paul Kirkman

<基本情報>

所在地	ヨーク York
開館	1975年9月
敷地面積	約80,000㎡
建物延べ面積	約29,300㎡
保有車両数	292両
運営	Publicly owned

ボルティモア・アンド・オハイオ鉄道博物館 Baltimore & Ohio Railroad Museum



アメリカ
U. S. A.

西半球の鉄道発祥の地として歴史ある場所に位置するボルティモア・アンド・オハイオ鉄道博物館は、アメリカの歴史的な鉄道関連資料を包括的に所有し、スミソニアン協会(Smithsonian Institution)とも提携している。優れた教育プログラムや展示に魅せられ世界中から多くの人々が訪れる。



コートニー・ウィルソン館長
Mr. Courtney B. Wilson

<基本情報>

所在地	メリーランド州ボルティモア Baltimore, MD
開館	1953年7月
敷地面積	約162,000㎡
建物延べ面積	約16,300㎡
保有車両数	200両
運営	Baltimore & Ohio Railroad Museum, Inc.

<p>国名</p>	<p>博物館</p>														
<p>日本 Japan</p>	<p>九州鉄道記念館</p>   <p>九州の鉄道発祥の地・門司に位置し、旧九州鉄道会社本社の歴史的な建物を舞台に鉄道遺産の展示を行うとともに、シミュレータやジオラマ、ミニ鉄道公園を備えた九州の鉄道の歴史を見て触れて体験できる鉄道ミュージアム。</p>  <p>佐藤正昭館長</p> <table border="1" data-bbox="638 806 1388 1097"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">＜基本情報＞</td> </tr> <tr> <td>所在地</td> <td>福岡県北九州市</td> </tr> <tr> <td>開館</td> <td>2003年8月</td> </tr> <tr> <td>敷地面積</td> <td>約7,800㎡</td> </tr> <tr> <td>建物延べ面積</td> <td>約2,900㎡</td> </tr> <tr> <td>保有車両数</td> <td>10両</td> </tr> <tr> <td>運営</td> <td>九州鉄道記念館運営共同企業体</td> </tr> </table>	＜基本情報＞		所在地	福岡県北九州市	開館	2003年8月	敷地面積	約7,800㎡	建物延べ面積	約2,900㎡	保有車両数	10両	運営	九州鉄道記念館運営共同企業体
＜基本情報＞															
所在地	福岡県北九州市														
開館	2003年8月														
敷地面積	約7,800㎡														
建物延べ面積	約2,900㎡														
保有車両数	10両														
運営	九州鉄道記念館運営共同企業体														
<p>日本 Japan</p>	<p>交通科学博物館</p>   <p>大阪環状線の開通記念事業の一環として開館し、近代化する鉄道を折り込み、現代・未来の交通を実物を中心に展示。京都・梅小路エリアで開設予定の新たな博物館に収蔵資料等を移設展示予定となっており、2014年4月に閉館予定。</p>  <p>兵東勇館長</p> <table border="1" data-bbox="638 1724 1388 2016"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">＜基本情報＞</td> </tr> <tr> <td>所在地</td> <td>大阪府大阪市</td> </tr> <tr> <td>開館</td> <td>1962年1月</td> </tr> <tr> <td>敷地面積</td> <td>約14,400㎡</td> </tr> <tr> <td>建物延べ面積</td> <td>約9,000㎡</td> </tr> <tr> <td>保有車両数</td> <td>20両</td> </tr> <tr> <td>運営</td> <td>公益財団法人交通文化振興財団</td> </tr> </table>	＜基本情報＞		所在地	大阪府大阪市	開館	1962年1月	敷地面積	約14,400㎡	建物延べ面積	約9,000㎡	保有車両数	20両	運営	公益財団法人交通文化振興財団
＜基本情報＞															
所在地	大阪府大阪市														
開館	1962年1月														
敷地面積	約14,400㎡														
建物延べ面積	約9,000㎡														
保有車両数	20両														
運営	公益財団法人交通文化振興財団														

国名	博物館														
<p>日本 Japan</p>	<p>リニア・鉄道館</p>   <p>東海道新幹線を中心に在来線から超電導リニアまでの39両の車両や、鉄道のしくみや歴史を解説する展示を通じて、「高速鉄道技術の進歩」「鉄道が社会に与えた影響」を学ぶことができるほか、ジオラマやシミュレータ等により、子どもから大人まで楽しめる「夢と思い出のミュージアム」。</p> <div style="display: flex; align-items: flex-start;">  <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: left;">＜基本情報＞</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>所在地</td> <td>愛知県名古屋市</td> </tr> <tr> <td>開館</td> <td>2011年3月</td> </tr> <tr> <td>敷地面積</td> <td>約27,500㎡</td> </tr> <tr> <td>建物延べ面積</td> <td>約14,400㎡</td> </tr> <tr> <td>保有車両数</td> <td>39両</td> </tr> <tr> <td>運営</td> <td>東海旅客鉄道株式会社</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p style="text-align: center;">金子利治館長</p>	＜基本情報＞		所在地	愛知県名古屋市	開館	2011年3月	敷地面積	約27,500㎡	建物延べ面積	約14,400㎡	保有車両数	39両	運営	東海旅客鉄道株式会社
＜基本情報＞															
所在地	愛知県名古屋市														
開館	2011年3月														
敷地面積	約27,500㎡														
建物延べ面積	約14,400㎡														
保有車両数	39両														
運営	東海旅客鉄道株式会社														
<p>日本 Japan</p>	<p>鉄道博物館</p>   <p>JR東日本創立20周年記念事業のメインプロジェクトとして開館。転車台を中心に配した実物車両展示をはじめ、シミュレータやミニ運転列車などの体験展示、鉄道の原理・しくみに触れて学べる展示など、鉄道を体験し遊び学ぶことのできる鉄道の総合博物館。</p> <div style="display: flex; align-items: flex-start;">  <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: left;">＜基本情報＞</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>所在地</td> <td>埼玉県さいたま市</td> </tr> <tr> <td>開館</td> <td>2007年10月</td> </tr> <tr> <td>敷地面積</td> <td>約46,800㎡</td> </tr> <tr> <td>建物延べ面積</td> <td>約28,000㎡</td> </tr> <tr> <td>保有車両数</td> <td>37両</td> </tr> <tr> <td>運営</td> <td>公益財団法人東日本鉄道文化財団</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p style="text-align: center;">関根徹館長</p>	＜基本情報＞		所在地	埼玉県さいたま市	開館	2007年10月	敷地面積	約46,800㎡	建物延べ面積	約28,000㎡	保有車両数	37両	運営	公益財団法人東日本鉄道文化財団
＜基本情報＞															
所在地	埼玉県さいたま市														
開館	2007年10月														
敷地面積	約46,800㎡														
建物延べ面積	約28,000㎡														
保有車両数	37両														
運営	公益財団法人東日本鉄道文化財団														